

第75回“社会を明るくする運動”

今泉住民集会を開催

8月2日（土）いずみえんにて、今泉自治会・いずみえん共催による「社会を明るくする運動」今泉住民集会が開催されました。

いずみえん統括園長鴨田弘樹氏、今泉自治会岡崎さちこ会長、矢口特別出張所長林剛士氏の挨拶に続き、池上警察署生活安全課少年係糸瀬謙介氏による「少年犯罪の予防」と題した講話があり、たばこ・お酒、万引き、薬物などはやらない、自転車乗車時にはヘルメット着用など実例を交えた解り易いお話がありました。

後半は、全盲エレクトーン奏者川越亮氏により、誰もが知っているアニメソングや童謡などの演奏があり、楽しく有意義な一時を過ごすことができました。

当日は、古市ジャガーズの野球少年23名を含め83名の参加者があり、皆さん興味深く聴いておられました。

いずみえんでは、前日に納涼祭が開催されており、スタッフの皆さんの連日の活躍には頭が下がる思いでした。



糸瀬氏の講演

矢口地区集会講演会を開催

8月25日（月）大田区民プラザ小ホール・展示室にて、前大田区長松原忠義氏をお迎えして“社会を明るくする運動”矢口地区住民集会が開催されました。

矢口地区自治会連合会会長山本幸男氏、大田区長鈴木晶雅氏、大田区保護司会会長佐川健氏の挨拶に続いて、松原前区長の「社会を明るくする運動について」と題した講演がありました。

松原前区長はご自身が保護司であった経験から、先ずこの運動の歴史的背景、目的とその精神について話されました。「人は変われる」という強い信念の下で活動を推進したこと、この運動の目的は「非行を防止し、立ち直りを支えること」にあるという根底の精神について語られました。

後半では大田区における取組みの紹介があり、施設や組織の整備、推進計画の策定など区長時代に取り組んできた施策を紹介し、「大田区の保護司活動は全国のモデルになっている」との話がありました。松原前区長が如何に積極的に取り組んできたかを伺い知ることができました。

閉会の辞では、矢口地区自治会連合会岡崎さちこ副会長が、ご自身も保護司であった経験を交えてお話をされました。

「社会を明るくする運動」を知る上では有意義な講演でありました。



講演風景



花束贈呈

下丸子ことぶき会 大田区代表推薦の快挙

6月に開催された大田区シニアクラブ連合会主催「演芸のつどい」出演クラブの中から、矢口地区の下丸子ことぶき会が東京都老人クラブ連合会主催「第60回芸能大会 舞踊部門」へ大田区唯一の代表チームとして推薦されました。

同大会は9月17日（水）、文京シビックホールにて行われました。

矢口地区から大田区代表が選ばれ東京都大会への出場切符を得たことは大変な快挙です。選抜チームばかりの演技はさすがに見事で、客席と一体になっての応援もかなわず、残念ながら入賞は逃しました。出場メンバーの健闘を称えましょう。



東京都大会で晴れの舞台に立つ

多摩川小学校 拡大学校運営協議会

7月28日（月）に多摩川小学校で「拡大学校運営協議会」を行いました。今年度の話題は「ウェルビーイング」です。（ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に幸福な状態のこと）

本校は「力のある学校～笑顔で光り輝くウェルビーイングな学校づくり～」に取り組んでいます。開校70年目の令和7年度、今までの歴史と伝統を受け継ぎながら、地域を知り、地域を愛し、地域を笑顔にする子どもを育てることを目指しています。

「地域のウェルビーイングとは」「ウェルビーイングな学習活動とは」「昨年度よりボトムアップした学習に」など、今年度も教員による取組内容の発表と保護者や地域の皆様を交えた意見交換を行いました。本校の教育活動をより内容を充実させるため、道徳授業地区公開講座で「あり・あり・なん・や（ありがとう・ありのままに・なんとかなる・やってみよう）」を教えてくださいました前野マドカ先生に、ご指導・ご講評をいただきました。

多摩川小学校から地域の皆様へ：今後も教育活動を通してウェルビーイングの輪を広げていきます。ご協力よろしくお願いいたします。(副校長 吉川 貴雄)



グループディスカッションの様子

100歳 おめでとうございます！

今年度、矢口特別出張所管内で100歳のお祝いを受けられた方が、男性2名、女性10名の計12名おられました。おめでとうございます。

なお大田区管内では男性31名、女性226名の計257名おられました(令和7年6月11日現在)。

1世紀の間、お元気で過ごされていることは私たちの誇りです。これからも健康に留意され、お元気で過ごしてください。

この度、そのうちの一人でいらっしゃる廣木馨さんにお話を伺うことができました。

青年の頃、横須賀海兵隊に所属していた廣木さん。終戦後はタンカー等の商船に乗って世界中を廻って来られ、定年後は自ら運転する自動車でご兄弟や同級生と一緒にいろいろな場所を旅されてきたそうです。そんな廣木さんに長生きの秘訣をお聞きしたところ「好きなものを食べて、好きなことをすることです」とお答えくださいました。100歳までお元気で過ごされている廣木さん、みんなの憧れの存在ですね！



朝寺子屋開催

7月23日～28日の5日間（27日除く）7時から8時30分のあいだ、矢口南町会の夏休みの行事のひとつとして、新田神社境内にある矢口文化会館で、朝寺子屋を開催し、5日間で延べ150人の子どもたちが参加しました。

夏のラジオ体操のあとに学び、交流の場を作ろうと始まったこの取り組みも、今年で8年、今や子どもたちも運営に携わり主体的に場をつくり上げています。

子どもたちの中には何年にもわたって参加している子もいて夏休みの宿題を持ってきて勉強している子もいれば、読書をしたりゲームやトランプ、遊び道具で遊んだりと高学年の子が低学年の子をみたりと思いに過ごしています。

お食事タイムになるとコップに飲み物を入れたり、おにぎりを配ったりとお互いに協力して頑張っていました。

地域が子どもたちを見守る活動として今後も頑張っていければと思います。

(矢口南町会 彦部 幸子)



朝寺子屋の様子

「大人のための楽しく遊ぶ会」開催

8月21日(木)ザ・リバープレイス自治会ボランティアグループ「楽しく遊ぶ会」では発足から8年目となる「大人のための楽しく遊ぶ会」を開催しました。

平成29年、ひとり暮らしの居住者の見守り訪問をするなかで「あのお店の〇〇が美味しいわね」とか「どこのクリニックで診てもらっている?」「日常のたわいもない話がしたいわね」という声を多く伺いました。自由に参加して話をし、遊び、情報を得る場を提供し、居住者が孤立しないようにとの思いでこの会が発足しました。手っ取り早い方法として「食事会」を開催し、参加者がどのような会を望んでいるか等、色々な意見を伺い、現在の「大人のための楽しく遊ぶ会」になりました。第一部、食事会では昼食用のお弁当を自治会に事前予約、またはご自分で持参して、みなさんと一緒に食べる。第二部、楽しく遊ぶ会では、参加者がその日したい「健康麻雀、卓球バレー、ラジオ体操」等に自由に参加します。

この会は月例開催ですが、みなさん毎回心待ちにしておられます。

(ザ・リバープレイス自治会 石田 弘美)



卓球バレー